



平成21年4月9日

各 位

会社名 株式会社 オータケ  
代表者 代表取締役社長 吉川 富雄  
(JASDAQ・コード7434)  
問合せ先 取締役経理部長 堀部 浩市  
TEL (052) 562-3311 (代表)

### 業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成21年1月9日に「平成21年5月期 第2四半期決算短信(非連結)」及び「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました平成21年5月期(平成20年6月1日から平成21年5月31日)の業績予想及び配当予想を、下記のとおり修正いたします。

#### 記

##### 1. 業績予想の修正

(1)平成21年5月期 通期業績予想の修正(平成20年6月1日から平成21年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,000	800	900	510	119 04
今回発表予想(B)	24,900	570	645	350	81 70
増減額(B-A)	△2,100	△230	△255	△160	△37 34
増減率(%)	△7.8	△28.8	△28.3	△31.4	△31.4
(参考)前期実績 (平成20年5月期)	29,015	1,104	1,205	740	172 86

##### (2)修正理由

平成21年5月期の通期の業績につきましては、従来から取り組んでいた既存取引先でのシェアの拡大や、新規取引先の開拓による売上の維持拡大を図ることにより、平成21年1月9日に発表いたしました業績を達成できると考えていました。しかし、10月以降、自動車産業を中心に、設備投資計画の中止や延期等が次々に発表されるに至り、当社の属する管材業界においても予想を超えた急激な需要の減少となり、12月、1月、2月の売上高は大幅に予想を下回る結果となりました。また、今後も市況の回復の兆しはなく、一層悪化の様相を呈しており、売上高は前回発表の予想を下回る見通しとなりました。利益面におきましても、販売費及び一般管理費の削減を進めたものの、売上高の減少に加え、競争激化による売上総利益率の低下により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を下回る見通しとなりました。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 修正内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期	期末	年間
前回予想 (平成21年1月9日)	—	33円00銭	33円00銭
今回修正予想	—	27円00銭	27円00銭
当期実績	—		
(ご参考) 前期実績(平成20年5月期)	—	33円00銭	33円00銭

### (2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要施策として位置づけており、経営の効率化を図りながら、安定的な配当を維持継続していくことを基本としております。併せて企業体質の強化、及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実を考慮しつつ、利益水準をより反映した適正な配当水準の維持向上に努めることとしてきました。

しかしながら、平成21年1月9日、及び今回の業績予想の修正のとおり、予想を上回る業績の悪化と、経営環境の先行きが不透明なことより、誠に遺憾ではございますが、平成21年5月期配当を27円に修正させていただきます。

以上

(注) 上記の予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。